

パナマ国全国港湾総合整備開発計画調査

*この業務には、共同企業体の構成員として参加しました。

プロジェクトの概要

発注者：国際協力事業団

期間：2006年8月～2007年12月

目的：パナマ国の地方活性化を促すため、2024年を目標年次とした全国港湾開発戦略を策定する。この開発戦略に基づいて4地域（ダリエン、パナマ、チリキ、ボカスデルトロ）の地方港湾（ラ・パルマ、コキーラ、アルムエジェス、ボカスデルトロ）の開発マスタープランおよび2014年までに緊急に実施すべき施設整備優先プロジェクトの策定とその実行可能性調査を行う。

弊社が担当した活動

担当分野：港湾政策/港湾行政、港湾計画、管理運営、経済/財務分析、海運動向/船舶運航

主な内容：

- パナマの港湾の階層分類と機能・役割の明確化。
- 地方開発計画（自由貿易区、輸出加工区、農業、観光振興）に基づく地域特性の把握
- 港湾の規模、機能・役割に応じた港湾行政と整備方策の提案
- 各地域の関係者の港湾計画策定への参画を目的としたステークホルダー会議の開催
- 施設整備重点地域の選定と対象港湾の特定
- 施設整備長期計画の作成および優先プロジェクトの選定。
- 優先プロジェクトの実行可能性検討
- 港湾経営・財務戦略（公共資金と港湾運営主体の資金による投資計画の作成）

